

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年6月23日（火）

2 確認箇所

遠隔操作室（図1）

3 確認項目

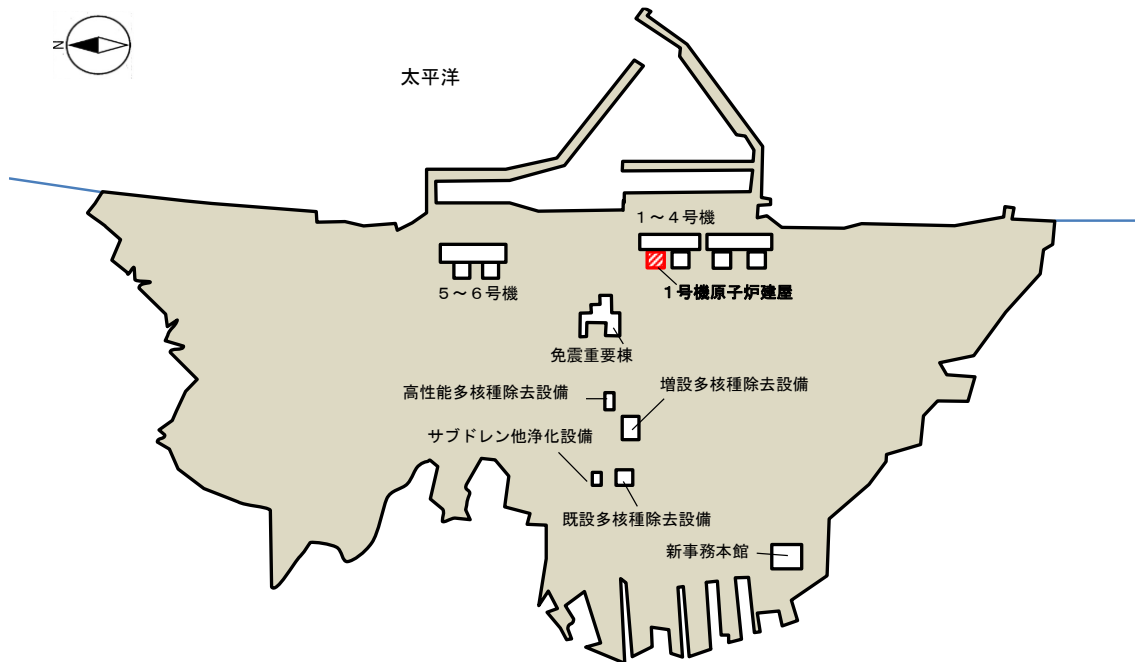
1号機ガレキ撤去作業及び搬出ルート等の確認

4 確認結果の概要

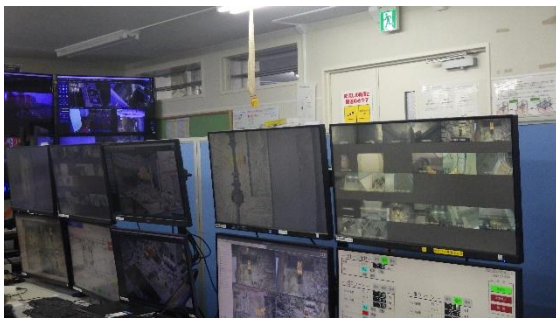
東京電力では、1号機使用済燃料プールに貯蔵されている計392体の燃料について、より安定した冷却・貯蔵が可能となる共用プールへの搬出を計画している。燃料取り出しに先立ち、原子炉建屋を覆う大型カバーの設置が令和8年3月25日に完了し、その付帯設備であるダストモニタや換気設備の稼働も開始され、同年6月22日から1号機原子炉建屋内のガレキ撤去作業が開始された。

今回、ガレキ撤去作業及び搬出ルート等の状況を確認した。

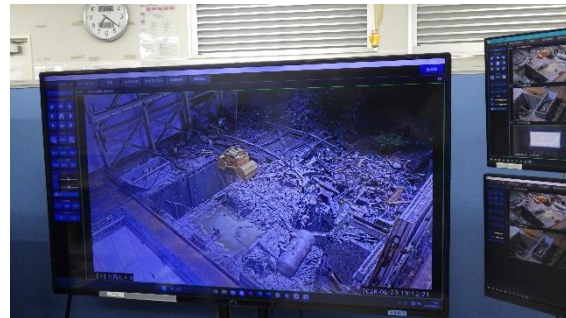
- ・ガレキ撤去作業として、撤去用天井クレーンに取り付けられたグラブフォーク（ガレキ把持具）を遠隔操作し、構内運搬容器（以下「ベッセル」という。）にガレキを収納する作業が行われていた。（写真1）
- ・現場確認時は、オペレーティングフロア北側の箇所において、ガレキをベッセルに収納する作業が繰り返し行われていた。（写真2）
- ・確認した範囲では、ガレキの把持・移動・容器収納の各工程において、ガレキ落下などの異常は確認されなかった。
- ・ベッセルに収納されたガレキは、線量測定や養生を行った上で滞貨ヤード又は小割テントへ運搬され、その後、ガレキの小割及びコンテナ収納作業が行われ、固体廃棄物貯蔵庫等で保管される予定となっている。現地確認時には、これら運搬ルート等も併せて確認した。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 遠隔操作室におけるガレキ撤去作業のモニタ状況①



(写真1②) 遠隔操作室におけるガレキ撤去作業のモニタ状況②



(写真2①) 遠隔操作室におけるガレキ撤去作業のモニタ状況③



(写真2②) 遠隔操作室におけるガレキ撤去作業のモニタ状況④



(写真 3 ①) 1 号機周辺の状況



(写真 3 ②) 小割テントの状況

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。